



牡丹（国清禅寺）

わたしたちのまちの 景況レポート No. 33

2023 年 1～3 月期実績・2023 年 4～6 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2023 年 1～3 月期実績・2023 年 4～6 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 666 社

製 造 業	149 社	卸 売 業	97 社	小 売 業	115 社
サービス業	115 社	建 設 業	141 社	不 動 産 業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：玉田、^{もみのき}樺木、坂田

TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (666先)			淡路地区 (384先)			神明地区 (282先)		
時期	2022年 10～12月 (前期)	2023年 1～3月 (今期)	2023年 4～6月 (見通し)	2022年 10～12月 (前期)	2023年 1～3月 (今期)	2023年 4～6月 (見通し)	2022年 10～12月 (前期)	2023年 1～3月 (今期)	2023年 4～6月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期 今期 来期

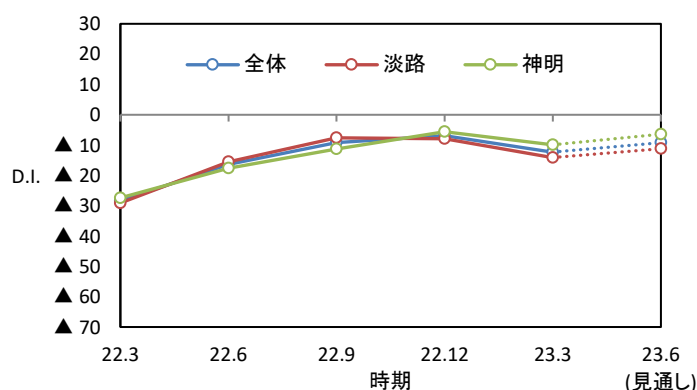
今期（2023年1～3月期）の業況判断D.I.は▲12.3となり、前期（2022年10～12月期）▲6.9に比べ5.4ポイント悪化しており、依然として不安定な状況に変わっていない。

項目別では、売上額は▲4.2（前期6.6）と10.8ポイント減少、収益もマイナス幅が前期比6.5ポイント減少し▲11.6となった。販売価格は26.3（前期31.7）と5.4ポイント下降、仕入価格は53.2（前期58.2）と5.0ポイント下降となって

いる。

人手過不足については0.4（前期▲25.0）と25.4ポイント改善、資金繰りについても▲5.3（前期▲7.5）と2.2ポイント改善した。来期（2023年4～6月期）の業況判断D.I.については▲9.2と3.1ポイント改善、他の項目では、売上額・収益などはやや増加傾向であるも仕入価格等高騰の高止まりで業況の回復が遅れる見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	-6.9	-12.3	-9.2
売上額(前期比)	6.6	-4.2	1.5
収益(前期比)	-5.1	-11.6	-4.1
販売価格(前期比)	31.7	26.3	20.4
仕入価格(前期比)	58.2	53.2	42.3
人手過不足(過剰ー不足)	-25.0	0.4	-0.7
資金繰り(楽ー苦)	-7.5	-5.3	-4.5
設備投資実施企業割合(%)	15.4	16.2	15.4

製造業

前期



今期



来期



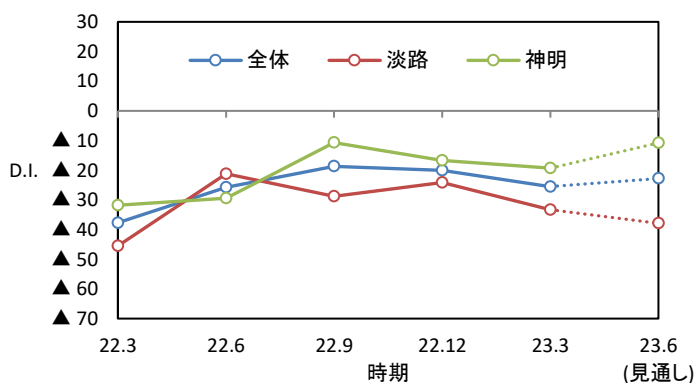
今期の業況判断 D. I. は▲25.5（前期▲20.0）で、5.5 ㊦マイナス幅が拡大となった。地区別の業況は、淡路地区▲33.3(前期▲24.2)と 9.1 ㊦の悪化、神明地区▲19.3(前期▲16.7)と 2.6 ㊦の悪化となった。来期については業況が▲22.8 と 2.7 ㊦の改善、売上額・収益についてもそれぞれ小幅ながらも改善する見通しとなっている。

お客様の声

原材料価格は依然として高騰し、取引先との価格交渉や経費削減の一環として内製化等も視野に入れ収益確保に取り組んでいる。（淡路）

売上は前年同月対比で横ばい、もしくは増加傾向にある。しかし高騰した材料費等は高止まりし収益を圧迫している。デジタル化の対応で人材を求人するも確保できず、標準的なことは経営者が対応して、詳細な点は税理士へ相談している。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



(D.I.)

	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	-20.0	-25.5	-22.8
売上額(前期比)	5.3	-5.4	-4.7
収益(前期比)	-12.7	-18.1	-12.8
販売価格(前期比)	33.3	30.2	21.5
仕入価格(前期比)	64.7	65.1	45.6
人手過不足(過剰-不足)	-21.3	2.7	2.7
資金繰り(楽-苦)	-12.7	-10.7	-10.7
設備投資実施企業割合(%)	12.7	18.8	17.4

卸売業

前期



今期



来期



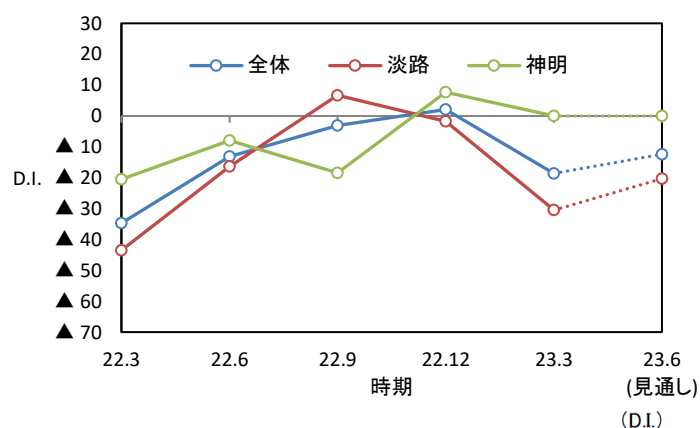
今期の業況判断 D. I. は▲18.6（前期 2.1）となり 20.7 ㊦の悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲30.5(前期▲1.7)と 28.8 ㊦と大幅に悪化、神明地区は 0.0(前期 7.7)と 7.7 ㊦の悪化となった。来期の業況は▲12.4 と 6.2 ㊦の改善見通しであり、売上額 9.3、収益 8.2 と今期より大幅に改善する見通しとなっている。

お客様の声

物価、エネルギー価格の高騰により仕入価格、経費等高水準で配送コストも上昇し収益が悪化、現在も先行き不透明感は払拭できず事業縮小により対応している。（淡路）

コロナ過の水際対策緩和による免税店等への売上回復、仕入価格の販売価格転嫁も進め利益還元として人件費のベースアップに取り組んでいる。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



(D.I.)

	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	2.1	-18.6	-12.4
売上額(前期比)	12.4	-18.6	9.3
収益(前期比)	1.0	-17.5	8.2
販売価格(前期比)	43.3	24.7	20.6
仕入価格(前期比)	50.5	42.3	30.9
人手過不足(過剰-不足)	-10.3	2.1	-1.0
資金繰り(楽-苦)	-4.1	-2.1	-2.1
設備投資実施企業割合(%)	17.5	16.5	8.2

小売業

前期



今期

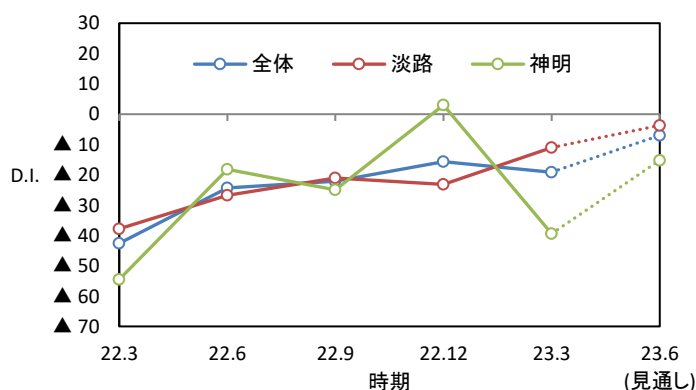


来期



今期の業況判断 D. I. は▲19.1(前期▲15.7)となり3.4 ㊦の悪化となった。地区別では、淡路地区▲11.0(前期▲23.2)と12.2 ㊦の改善、神明地区では▲39.4(前期3.0)と42.4 ㊦と大幅に悪化している。来期の業況は、12.1 ㊦改善の▲7.0 であるが、低水準にとどまる状況が続く見込みである。売上額は4.3と16.5 ㊦の改善。収益についてはマイナス水準ではあるが、仕入価格の下降により▲5.2と8.7 ㊦の改善の見通しとなっている。

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	-15.7	-19.1	-7.0
売上額(前期比)	2.6	-12.2	4.3
収益(前期比)	-9.6	-13.9	-5.2
販売価格(前期比)	41.7	33.0	32.2
仕入価格(前期比)	56.5	52.2	46.1
人手過不足(過剰-不足)	-15.7	-1.7	-2.6
資金繰り(楽-苦)	-14.8	-7.0	-7.0
設備投資実施企業割合(%)	11.3	10.4	13.0

お客様の声

メーカーの製造遅延による納期の長期化、在庫不足が常態化するも、売上は前年並みで推移している。今後も仕入価格上昇による販売価格転嫁交渉を推し進めて収益の確保を図って行く。(淡路)

コロナ過の終息感で受注は回復している。特に季節商品販売を控えて業績の拡大を図っている。デジタル化については必要性もなく現在のところ考えていない。(神明)

サービス業

前期



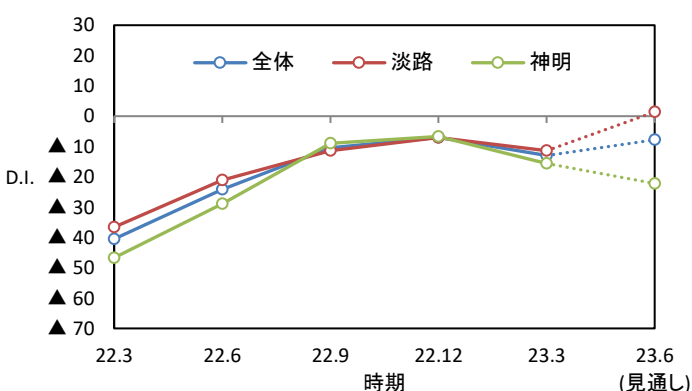
今期



来期



今期の業況判断 D. I. は▲13.0(前期▲7.0)となり6.0 ㊦の悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲11.4(前期▲7.1)、神明地区は▲15.6(前期▲6.7)と共に悪化している。来期の業況は▲7.8と5.2 ㊦改善する見通しではあるが、依然として低調な状況である。



(D.I.)

	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	-7.0	-13.0	-7.8
売上額(前期比)	2.6	-6.1	6.1
収益(前期比)	-2.6	-17.4	-1.7
販売価格(前期比)	30.4	21.7	13.0
仕入価格(前期比)	61.7	53.9	43.5
人手過不足(過剰-不足)	-32.2	-27.0	-24.3
資金繰り(楽-苦)	-10.4	-10.4	-6.1
設備投資実施企業割合(%)	17.4	17.4	18.3

お客様の声

受注状況は順調、売上高は前年と同水準で推移、一方で材料やエネルギー価格の高騰で収益環境に影響が出ている。現在、人材確保と個々店舗別の採算に注視し利益確保に取り組んでいる。(淡路)

コロナ過の影響による利用者減少で売上が減少、人員削減等実地し経費削減に務めているが販路拡大の課題や原材料高騰による収益圧迫で厳しい業況が続いている。(神明)

建設業

前期

今期

来期

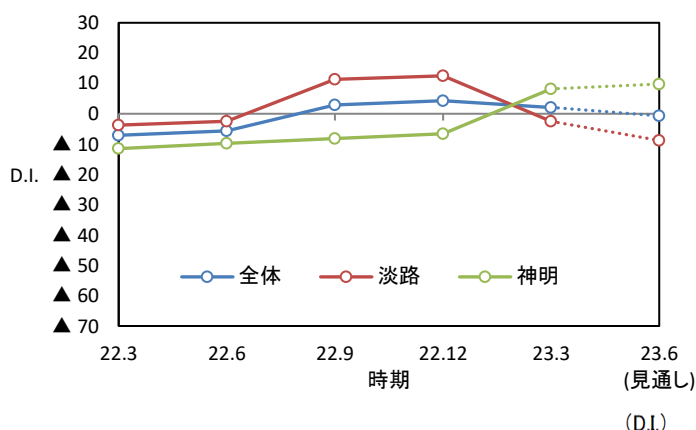
今期の業況判断D.I.は2.1(前期4.3)と2.2ポイントの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は▲2.5(前期12.5)と15.0ポイント大幅に悪化、神明地区は8.2(前期▲6.6)と14.8ポイント大きく改善となった。来期の業況については▲0.7で、2.8ポイントやや悪化する見通しである。課題である人手過不足については▲34.0と依然として大幅なマイナスの状態が続いている。

お客様の声

売上高は前年同時期比でやや減少、材料、エネルギー価格高騰の影響で収益は減少している。また人手不足から人材確保が課題となっており様々な求人活動を行っているも成果は出ていない状況である。(淡路)

業績は横ばいであるが、地価や建築資材高騰の影響で若年層の住宅相談が減少傾向で、建て替えやリノベーション需要の取組みで営業活動を行っている。デジタル化については業界の動向に合わせて実施している。(神明)

業況判断D.I.の推移(地区別)



	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	4.3	2.1	-0.7
売上額(前期比)	8.5	8.5	-2.8
収益(前期比)	-2.8	-4.3	-9.2
販売価格(前期比)	19.9	21.3	14.9
仕入価格(前期比)	66.0	55.3	47.5
人手過不足(過剰-不足)	-45.4	-35.5	-34.0
資金繰り(楽-苦)	-0.7	-1.4	-0.7
設備投資実施企業割合(%)	18.4	17.0	17.7

不動産業

前期

今期

来期

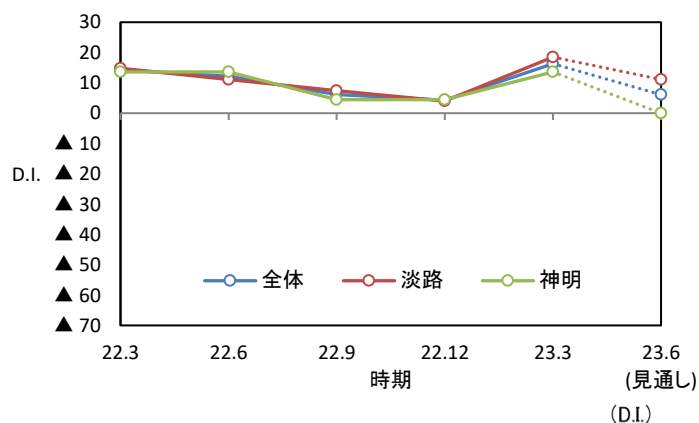
今期の業況判断D.I.は16.3(前期4.3)と12.0ポイント増加となった。地区別の業況は、淡路地区は18.5(前期4.0)と14.5ポイントの増加、神明地区は13.6(前期4.5)と9.1ポイントの増加となり両地区共にプラスの水準を維持している。来期は、業況、売上額、収益など各項目で減少する見通しとなっている。

お客様の声

大手企業等の島内移転に伴い物件や土地に関する相談件数が増加するも業績は横ばいであり、今後もWebサイト等を利用した宣伝活動に注力し販売網の拡大を図っていく。(淡路)

業績は横ばいで推移するも不動産の高騰により収益不動産購入に係るリスクは上昇している。インボイス制度については税理士と相談中で、デジタル化については必要性を感じていない状況である。(神明)

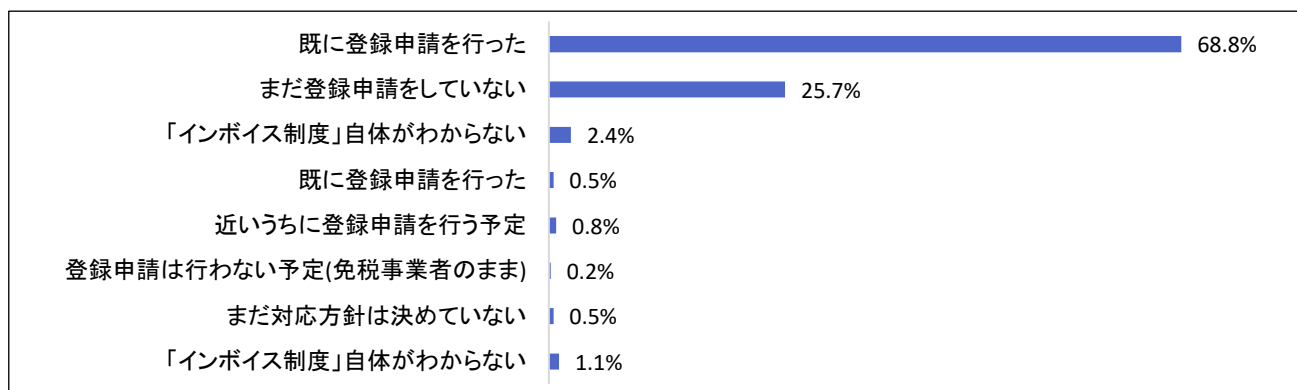
業況判断D.I.の推移(地区別)



	22年12月 (前期)	23年3月 (今期)	23年6月 (見通し)
業況	4.3	16.3	6.1
売上額(前期比)	12.8	14.3	0.0
収益(前期比)	4.3	18.4	10.2
販売価格(前期比)	17.0	26.5	22.4
仕入価格(前期比)	25.5	32.7	28.6
人手過不足(過剰-不足)	-10.6	-8.2	-10.2
資金繰り(楽-苦)	6.4	10.2	8.2

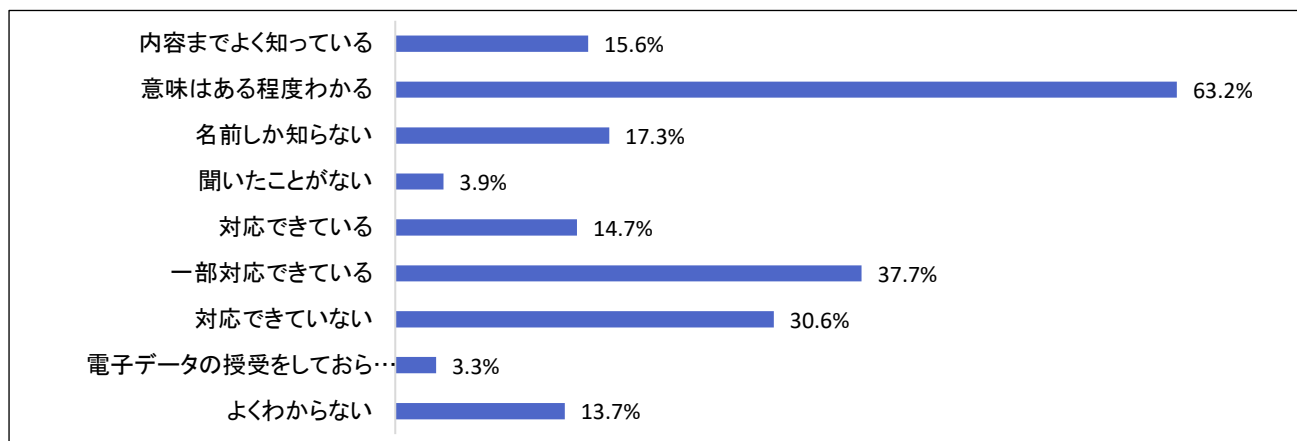
問1 インボイス制度へ向けてどのように対応しているか

2023年10月開始予定「インボイス制度」の発行事業者登録申請については、課税事業者は「登録申請を行った」の回答が68.8%「未登録」が25.7%、「制度がわからない」の回答が2.4%であった。免税事業者では登録申請済及び予定で1.3%、反面、「行わない」「決めていない」「制度がわからない」が1.8%となる。地区別では、淡路地区で「登録申請済」が65.9%、神明地区は73.0%の回答、業種別登録申請では製造業が79.9%と最も多く、次いで建設業の75.9%となっている。



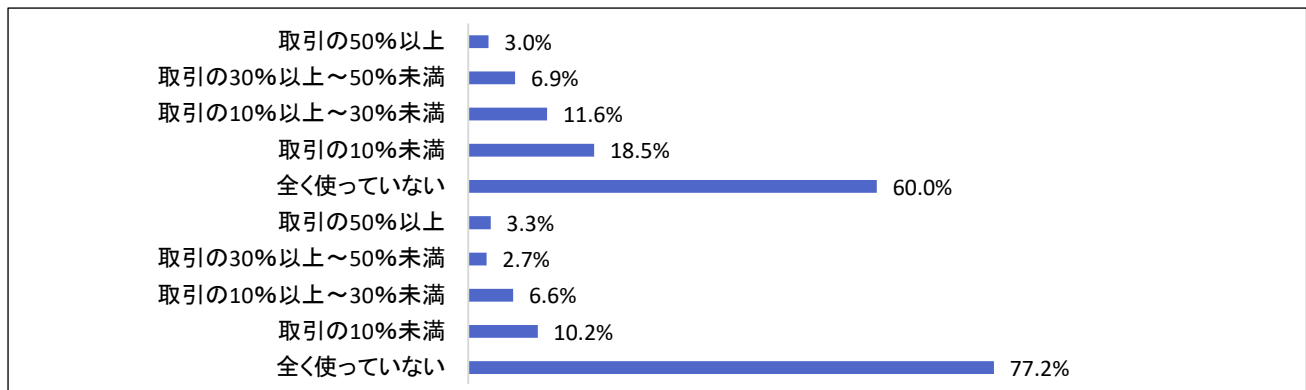
問2 電帳法の認知度・対応について

電子帳簿保存法(電帳法)改定の認知度については、「内容まで知っている」「ある程度わかる」が78.8%、「名前しか知らない」「聞いたことがない」の回答が21.2%、対応については、「対応できている」「一部対応できている」が52.4%、「出来ない」「関係ない・分からない」が47.6%の回答。地区別認知度では、「内容まで知っている」「ある程度分かる」が淡路地区77.9%神明地区80.1%の回答、業種別では全ての業種において約80%と認知度は高くなっている。



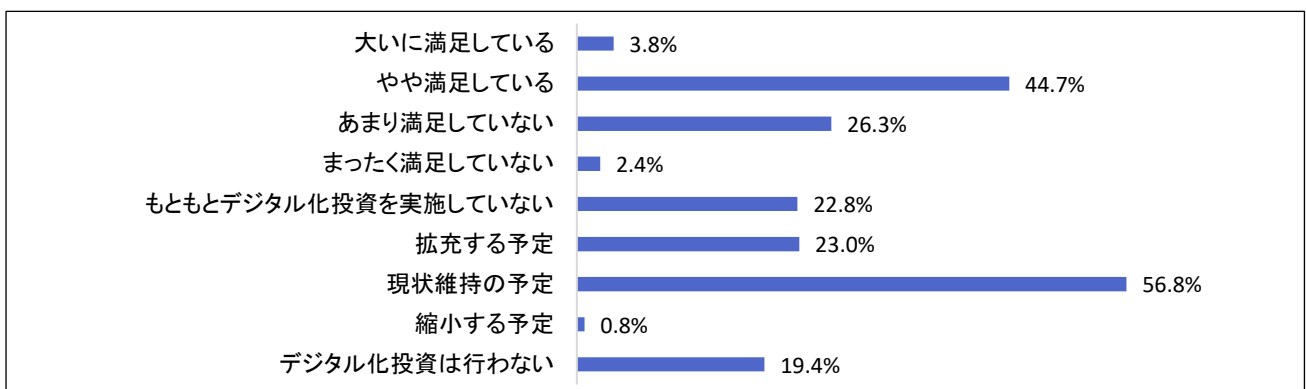
問3 手形・でんさいの利用頻度

企業間での資金決済時における手形・でんさい(電子記録債権)の利用頻度については、「手形利用」は40%、「使っていない」は60%、「でんさい利用」は22.8%「使っていない」は77.2%の回答。地区別では「手形利用」淡路地区36.7%神明地区44.3%、「手形利用なし」淡路地区63.3%神明地区55.7%、「でんさい利用」淡路地区16.1%神明地区31.9%、「でんさい利用なし」淡路地区83.9%神明地区68.1%の回答。業種別では「でんさい利用」は製造業が最も多く41.6%、「でんさい利用なし」は小売業・不動産業の2業種で90%以上の回答になっている。



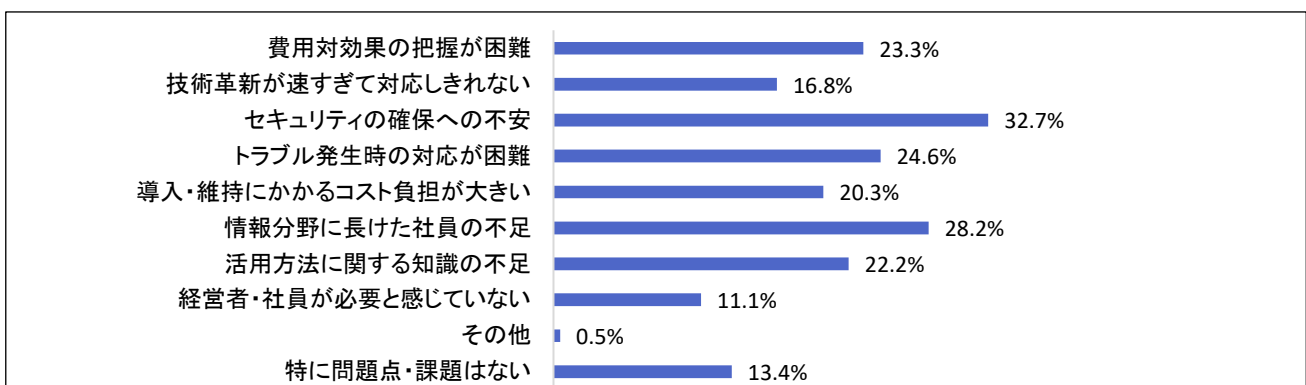
問4 デジタル化投資の費用対効果

これまで行ったデジタル化投資の費用対効果の満足度については「満足・やや満足」が48.5%、「満足していない、実施なし」が51.5%の回答。地区別では「満足・やや満足」は淡路地区48.4%、神明地区48.5%、「満足していない、実施なし」は淡路地区51.6%、神明地区51.5%の回答。今後のデジタル投資計画については、「拡充する予定」23%「現状維持」56.8%「投資無し」19.4%、業種別については全業種ともに上記回答と同様になっている。



問5 デジタル化の問題点・課題

デジタル化推進においての問題点・課題については、「セキュリティの確保への不安」が32.7%と最も多く、次いで「情報分野に長けた社員の不足」が28.2%、「トラブル発生時の対応が困難」24.6%、「費用対効果の把握が困難」が23.3%と続いた。地区別では、淡路・神明地区共に「セキュリティの確保への不安」が最も多く、業種別においても同様に「セキュリティの確保への不安」が最も高い割合となった。



AKANE

株式会社 あかね

〒656-0054 兵庫県洲本市宇原 2282

tel:0120-53-2282/fax:0799-38-4059

【timeline】

私たち、株式会社あかねは2015年1月22日に設立されました。淡路島での訪問看護、通所介護、児童放課後デイサービス、居宅介護支援事業、相談支援事業と医療・介護・障害福祉事業を中心に事業を展開しています。

また、各事業のコンサルティング事業も手掛け、2020年からは島外での訪問看護事業を開始するに至りました。今後も、島外の医療や介護人材を淡路島で雇用し、さらなる事業展開を進めていきます。

【philosophy】

私たちの企業理念は「その先にあるもの」です。

人口減少、高齢化、老々介護、ヤングケアラー、医療職・介護職の離職__。

日本の縮図といわれる淡路島でも、そして、この日本の課題である、これらに私たちが挑戦し続け、「その先にあるもの」を考える。介護先進エリアである、淡路島から日本全国へ情報を発信していきたいと考えています。

私たちは日々考え、行動することを大切にしています。

【purpose】

私たちは医療・介護・障害福祉の仕事を通じて、それぞれの「なりたい自分」を実現することを目標としている会社です。

淡路島で暮らす人たち、そして自分たちの未来が明るく照らされるように日々研鑽を重ねていきたいと考えています。



timeline

沿革

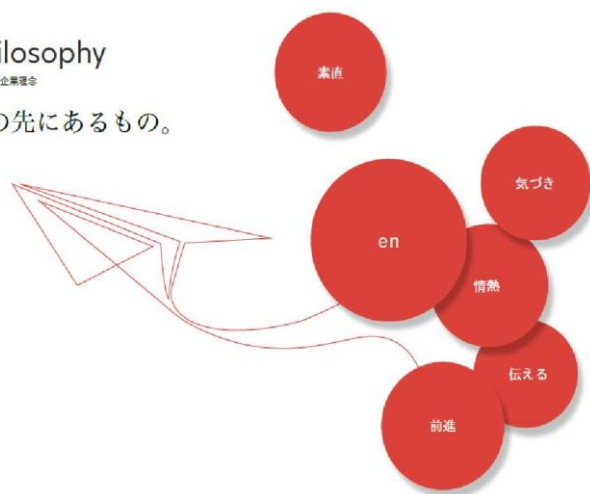
これまで、これからも。



philosophy

私たちの企業理念

その先にあるもの。



AKANE

cyan

華

SORATO

FOR VIDEO
みつけ

TAK

COCOON

医療・介護コンサルティング

通所介護

訪問介護

放課後デイサービス

居宅介護支援

相談支援

わたしたちのマチの元気企業 ㊿



抜型総合メーカー
UNIVERSE
株式会社 ユニバース



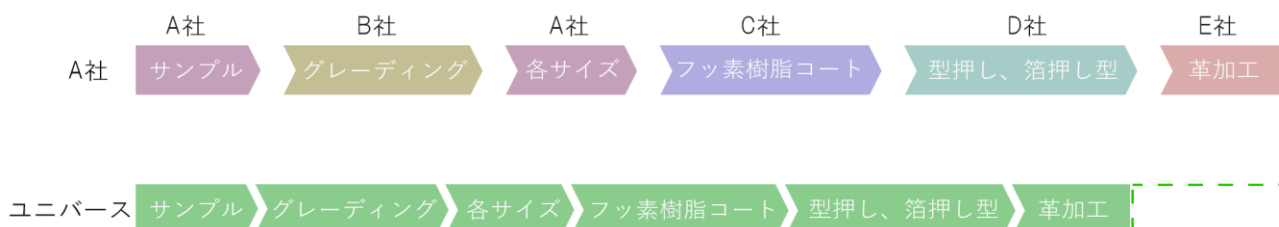
抜型総合メーカーUNIVERSEは
1985年の創業から
靴や鞆などの革や生地を裁断する
抜刃型の製造を主な事業として
お客様に提供してまいりました。

創業当初からの「職人技術」を
今に至るまで磨きつつ
マシニングなどの真鍮加工や
パンチングなどの革加工にも事業を拡げ
今後も新たな機械を導入しながら
拡大していく企業です。

めまぐるしく動く時代において
私たちは求められている物を常に考え
変化し続ける事を大切にしています。



商品が完成するまでの工程を
自社一貫体制でおこなうので、時間ロスを抑え
突発的な修正にも社内連携し、即対応できる体制



【神戸本社】〒653-0031 兵庫県神戸市長田区西尻池町 1-3-5

TEL:078-621-3337 FAX:078-621-7781

【東京支社】〒125-0054 東京都葛飾区高砂 2-1-13

TEL:03-5876-8200 FAX:03-5876-8110

【大阪営業所】〒557-0042 大阪市西成区岸里東 1-13-7

TEL:06-6115-7477 FAX:06-6115-7478